

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	刈谷銀座AB地区プロジェクト	階数	28
建設地	愛知県刈谷市銀座三丁目34-121・2124(豊田四丁目10-121)寺崎町五丁目8933	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、準防火区域	平均居住人員	570 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	物販店・病院・集合住宅、等	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年3月 予定	評価の実施日	2017年9月4日
敷地面積	2,259 m ²	作成者	株式会社富士設計 河野 展之
建築面積	1,393 m ²	確認日	2017年9月4日
延床面積	12,036 m ²	確認者	株式会社富士設計 河野 展之



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	82%
③上記+②以外の	82%
④上記+	82%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.3

音環境	3.0
温熱環境	3.0
光・視環境	3.7
空気質環境	3.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.9

機能性	2.7
耐用性	2.8
対応性	3.4

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 2.8

生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性・	3.6

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.4

建物外皮の	4.0
自然エネ	4.8
設備システ	3.0
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.8

水資源	3.4
非再生材の	2.7
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.9

地球温暖化	3.7
地域環境	2.5
周辺環境	2.7

3 重点項目

①地球温暖化への配慮

3.7

③敷地内の緑化

2.0

外構緑化指数 (外構緑化面積/外構面積)

48.3 %

建物緑化指数 (建物緑化面積/建築面積)

17.6 %

②資源の有効活用

2.7

④地域材の活用

1.0

<外装材に使用した地域性のある材料>

なし

<建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材>

なし

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮
LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用
Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性
LR-2 2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化
Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}} \times 100$

建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建物によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

みんなの環境活動を応援しています

3 対応性・更新性				3.0	0.29	3.6	3.6	1.00	3.4
3.1 空間のゆとり				3.6	0.05	4.2	4.2	0.50	
1 階高のゆとり			階高 物販店4.35m 飲食店3.9m 住宅居室3.1m	4.0	0.60		5.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ				3.0	0.40		3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり				3.0	0.05		3.0	0.50	
3.3 設備の更新性				3.0	0.91				
1 空調配管の更新性		②		3.0	0.17				
2 給排水管の更新性				3.0	0.17				
3 電気配線の更新性				3.0	0.11				
4 通信配線の更新性				3.0	0.11				
5 設備機器の更新性				3.0	0.22				
6 バックアップスペースの確保				3.0	0.22				
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30				2.8
1 生物環境の保全と創出		独自③		2.0	0.30				2.0
2 まちなみ・景観への配慮		独自④		3.0	0.40				3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				3.5	0.30				3.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		独自④	ビロティ・バルコニー、防犯カメラの設置。地域スペースの確保。	4.0	0.50				
3.2 敷地内温熱環境の向上				3.0	0.50				
LR 建築物の環境負荷低減性									3.1
LR1 エネルギー				-	0.40				3.4
1 建物外皮の熱負荷抑制			BPIm=0.86	4.0	0.33				4.0
2 自然エネルギー利用				0.4	0.17				0.4
3 設備システムの高効率化			BEIm=0.8	4.8	0.33				4.8
4 効率的運用				3.0	0.17				3.0
集合住宅以外の評価				3.0	0.15				
4.1 モニタリング				3.0	0.50				
4.2 運用管理体制				3.0	0.50				
集合住宅の評価				3.0	0.85				
4.1 モニタリング				3.0	0.50				
4.2 運用管理体制				3.0	0.50				
LR2 資源・マテリアル				-	0.30				2.8
1 水資源保護				3.4	0.15				3.4
1.1 節水			過半数以上の節水水栓に加え、節水型便器を用いている	4.0	0.40				
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60				
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.95				
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.05				
2 非再生性資源の使用量削減				2.7	0.63				2.7
2.1 材料使用量の削減				2.0	0.07				
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.24				
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		②	-	3.0	0.20				
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		②	-	1.0	0.20				
2.5 持続可能な森林から産出された木材				2.0	0.05				
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		独自	躯体と仕上材が容易に分別可能(LGS+PB)	4.0	0.24				
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.0	0.22				3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.32				
3.2 フロン・ハロンの回避				3.0	0.68				
1 消火剤				-	-				
2 発泡剤(断熱材等)				3.0	0.50				
3 冷媒				3.0	0.50				
LR3 敷地外環境				-	0.30				2.9
1 地球温暖化への配慮		①	LCCO2排出率=82%	3.7	0.33				3.7
2 地域環境への配慮				2.5	0.33				2.5
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25				
2.2 温熱環境悪化の改善				2.0	0.50				
2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.0	0.25				
1 雨水排水負荷低減		独自		3.0	0.25				
2 汚水処理負荷抑制				3.0	0.25				
3 交通負荷抑制		独自		3.0	0.25				
4 廃棄物処理負荷抑制				3.0	0.25				
3 周辺環境への配慮				2.7	0.33				2.7
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40				
1 騒音		独自		3.0	1.00				
2 振動		独自		-	-				
3 悪臭				-	-				
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				1.6	0.40				
1 風害の抑制				1.0	0.70				
2 砂塵の抑制				-	-				
3 日照障害の抑制				3.0	0.30				
3.3 光害の抑制				4.4	0.20				
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			チェックリストの項目の過半を満たしている	5.0	0.70				
2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30				

重点項目スコアシート
刈谷銀座AB地区プロジェクト

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策				3.7
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.7	0.10	
② 資源の有効活用				2.7
Q2-2	耐震性・信頼性	2.8	0.09	
Q2-3	対応性・更新性	3.0	0.09	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	2.7	0.19	
③ 敷地内の緑化				2.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	2.0	0.09	外構緑化:48.3%/建物緑化:17.6%
④ 地域材の活用			(評価ポイント)	1.0
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 刈谷銀座AB地区プロジェクト

計画上の配慮事項	
総合	多世代に渡り、多くの方が安全安心に暮らせる生活環境の創出を目指しています
Q1 室内環境	内装材は全面的にF☆☆☆☆を使用
Q2 サービス性能	免震構造
Q3 室外環境(敷地内)	屋上緑化の実施
LR1 エネルギー	LED照明設備の設置
LR2 資源・マテリアル	節水型器具の採用
LR3 敷地外環境	LCCO2排出率=82%
その他	特になし